

新企画北区会 「自由な趣味作りの会」

1、「絵手紙絵はがきの会」立ち上げについて

・講師:野見喜昭様「プロフィール、は下記、6項に記載あり」

運営委員(敬称略・順不同)

芦田義和 庄田洋一 淡路忠義 南形 徹 土井昭正

庶務:芦田義和・講師打合せ、活動計画作成配信、活動記録制作写真、次回予定。

2、・第一回開催:8月 29日(水)12時とします。

・定例曜日 第一回開催検討し決定する。

(・第一回募集締め切り 8月26日:第二回募集27日以降)

3、★活動概要

① 開催場所:KSC`内・園芸教室

② 開催月日時:定例開催曜日について、会議で決定する

③ 参加費:一回=300円~400円。

④ 初回授業: 講師ご挨拶(活動概要など)・絵道具の種類と質など説明。

・ご自身の作品の公開と説明など

・材料(自費);パステル(クレヨン)、水彩画絵具と絵筆・パレット・画用紙(100均)

・その他:別紙2枚に説明書あり

4、・参加者絵手紙&絵はがき楽しみたい方(初心者歓迎)

絵手紙(えてがみ)とは、「絵のある手紙をかき送ること」である。「絵のある手紙」自体は古くからあるものだが、「絵手紙」というジャンルが確立されたきっかけは、書道家の小池邦夫が1978年から1979年にかけて、芸術誌「季刊 銀花」へ綴じ込み企画。現在は、中高年層を中心に趣味の一環として広まり始めている。基本的な道具として、筆・墨・顔彩・画仙紙はがきを用いる。はがきに花や野菜など、身近にあるものをかき、絵手紙を送る相手に最も伝えたい気持ちを短い言葉で添える。モットーは、「**ヘタ**でいい・**ヘタ**がいい」。テクニックよりも、自分らしさがハガキの中に出ているかどうかを大切にする。また、「手紙」という性質上、絵は添え物で言葉(かき手の気持ち)の方を重視する。

画材 & 絵画サンプル by野見様



・講師:野見喜昭様(一般・Cブロック) プロフィール

多くの披瀝があり

- ・生来の絵をく事が大好き、画家志望だったが、残念ながら家庭の事情で断念する。
- ・青年期には「二紀展」油絵を常に出展していた。
- ・NPO法人神戸グランドアンカー「国土交通近畿地方整備局長賞」受賞
- ・風見鶏の館の会」入賞 神戸新聞社
- ・神戸市 美術展 出展 神戸市
- ・兵庫県 労働者展 兵庫県
- ※ 絵手紙教室 7年間開催。

- ・申込: Aブロック 佐伯義昭 (yoshisaeki@nifty.com 593-5092)
- Bブロック 飯川泰郎 (yasuomukashi12@yahoo.co.jp 592-2803)
- Cブロック 芦田義和 (y-ashida@kxe.biglobe.ne.jp 583-1196)
- Dブロック 庄田洋一 (ysho@sannet.ne.jp 950-2722)

